

質問事項	質問の要旨
<p>1 要援護者への支援体制について</p>	<p>本町は東日本大震災での大津波では最大の被災地ではあったが、全国全世界の方々からの温かい支援により、8年の復興計画を終了しました。これから本町の町づくりは弱者にやさしい町づくりが重要です。弱者にやさしい町は温かい住みよい町に繋がるとの考えのもとに次の点を伺います。</p> <p>(1) 今後は慣れない災害公営住宅等での孤立化、孤独死を防ぐための具体的施策が重要と考えますが。</p> <p>(2) 災害時に自力避難できない人への実効的支援をどのように考えてますか。</p> <p>(3) セケ浜町の「避難行動要支援者の名簿提供に関する条例」は参考にすべきと考えますが。</p> <p>(質問の相手：町長・担当課長)</p>
<p>2 公営住宅について</p>	<p>本町は1,300戸近くあった仮設住宅もその役割を終え、災害公営住宅も予定通り完成しました。</p> <p>町民のほぼ3割が公営住宅の現状で公営住宅の活用は財政上からも重要課題と考え次の点を伺います。</p> <p>(1) 最新の公営住宅、災害公営住宅の入居状況を示してください。</p>

質問事項	質問の要旨
3 学校教育について	(2) 公営住宅入居の政令月収が25万9,000円に上
	がったが、これを超える入居者はいますか。
	(3) 災害公営住宅の有効活用を本町の重要課題と
	してとらえるべきと考えますが。
	(質問の相手：町長・担当課長)
	国や地域の未来は現在の教育のあり様によって決
	まると考えます。教育は未来の地域づくりの根幹で
	あり、復興おながわの未来は現在の子供たちが担う
	ものです。2020年度中に小中一貫校が開校し、小学
	校の5、6年生で英語が正式教科になります。この
	重要な時期に次の点を伺います。
	(1) 平成31年度の本町の学力テストの結果は。
	(2) 小学校での英語の正式教科へ向けての準備は
できていますか。	
(3) 学校教育で選挙や民主主義をもっと取り上げ	
るべきと考えますが。	
(質問の相手：教育長・担当課長)	